

---

# 紫陽花と君と

杏珠啼

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

紫陽花と君と

### 【Nコード】

N0660V

### 【作者名】

杏珠啼

### 【あらすじ】

平凡な女の子が野球馬鹿な最愛の人と結婚するまでの日々。  
暇潰し程度にどうぞ。

## Prologue (前書き)

伯爵令嬢の方も更新まちまちなのに突発的に書いてしまいました。  
更新は本当に気まぐれです。  
暇潰しになれば幸いです。

## Prologue

純白のウェディングドレスに身を包み、自慢の長い髪を複雑に結い上げた自分の姿を大きな鏡で見ているのに、そこにいるのは全く見知らぬ人に見えて仕方がない。

本当に自分だろうか。

夢ではないだろうか。

そもそも自分が結婚するなんて実感が湧かないものなのか。

一生に一度の結婚式なのに実感が湧かないなんてもつたいたい。

相手は長年想い続けた最愛の人なのに。

そもそも私と彼は今でこそ結婚までするような仲だが、第一印象は最悪だった。

遡ること11年前。

4月某日県内のある小学校。

その年6年生になった私は、元々仲の良かった友達とのお喋りもそこそこに自分の席に着き、当時流行りの携帯小説を読んでいた。

そこに隣の席の人であろう人物がドカツと席に着いて私の方を見て一言。

「ぶっさいく」

存在は知っていたけど話したこともない人から言われるにしてはあまりに衝撃的な一言だった。

決して自意識過剰な訳ではないが顔は標準だと自負していた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0660v/>

---

紫陽花と君と

2011年7月23日12時54分発行